



人と、地域と、未来をむすぶ

十六銀行

十六アジアレポート 2026年8月号

JUROKU ASIA REPORT AUGUST 2026

2026年8月3日 発行 十六銀行 ソリューション営業部 海外サポート室

目次

1. ベトナム:「現地実感とFDI統計から読み解くベトナム・インド・中国の投資潮流」

ハノイ駐在員事務所 長谷川晃照

2. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

1. ベトナム:「現地実感と FDI 統計から読み解く

ベトナム・インド・中国の投資潮流」

ハノイ駐在員事務所 長谷川晃照

1. 現地の肌感覚と海外直接投資（FDI）統計から見る「インドからベトナムへの投資」の実態

昨今、インドに関するセミナーを目にする機会が増えている。本稿ではそうした潮流を踏まえつつ、今回はベトナムを起点としてインドおよび他国との「双方向の投資」について触れてみたい。

まず「インドからベトナムへの投資」についてである。当行事務所が入居するオフィスビルの同フロアにはインド系企業が拠点を構えているものの、日々の業務で工業団地を訪問する中で、インド企業に出くわす機会は非常に少ない。

実際のベトナム向け海外直接投資（FDI）ランキング（表 1）に目を移しても、インドからの投資額は 8,700 万ドルで 20 位に位置している。東アジアや ASEAN 主要国といった上位陣に比べるとその金額規模はまだ小さく、IT や製薬など高付加価値なニッチ分野に特化していると言わざるを得ない。こうした統計データは、現地で日々感じる「インド系企業の限定的な存在感」を如実に裏付けるものである。

（表1）

ベトナム向け海外直接投資（FDI）プロジェクト
（2024年認可分）

（単位：百万米ドル）

順位	国・地域名	投資額
1	Singapore	10,207
2	Korea Rep.of	7,057
3	China, PR	4,732
4	Hong Kong SAR (China)	4,348
5	Japan	3,502
6	Taiwan (China)	2,085
7	Cayman Islands	1,232
8	Samoa	856
9	Republic of Turkey	764
10	British Virgin Islands	586

20	India	87
----	-------	----

NSO（ベトナム国家統計局）HPより筆者抽出

2. チャイナ・プラスワンの主役、中華圏からの強烈な製造業移転の勢い

一方で、「チャイナ・プラスワン」と言われて久しい製造業の移転先としてのベトナムには、別の数字が強く表れている。中国単体での投資額（3 位：約 47 億 3,200 万ドル）に加え、香港（4 位：約 43 億 4,800 万ドル）、台湾（6 位：約 20 億 8,500 万ドル）など、中華圏からの製造業移転の勢いは圧倒的である。なお、統計上ではシンガポール（1 位）やケイマン諸島（7 位）、サモア（8 位）、英領ヴァージン諸島（10 位）といった国・地域が上位に名を連ねている。これらは実質的な投資元ではなく、他国のグローバル企業（インド企業や欧米企業を含む）が税制上の理由（タックス・ヘイブンなど）で経由地とした投資である点に留意しなければならない。

3. 逆流する投資潮流：「ベトナムからインドへ」の進出

第 1 項で触れたとおり、インドからベトナムへの投資が限定的である一方、非常に興味深い潮流として、「ベトナムからインドへの投資」が活発化している。ベトナムの対インド投資は 30 プロジェクト、総額約 1 億 5,050 万ドル規模（出所：ベトナム 文化スポーツ観光省 草の根情報・対外情報局）へと達しており、その牽引役となっているのがベトナム最大のコングロマリット企業ヴィンググループ（Vingroup）である。

① グリーン SM（GSM）によるニューデリーでのサービス開始

直近のハイライトは、ヴィンググループ傘下の電気自動車（EV）タクシー企業「グリーン SM（GSM）」が、インドの首都ニューデリーでサービスを開始したことである。同社はこれまでベトナム国内、ラオス、インドネシア、フィリピンで事業を展開しており、インドは 5 か国目の事業展開先となる。

② ヴィンファスト（VinFast）によるインド製造拠点の猛追

GSM が走らせる車両を製造する自動車メーカー「ヴィンファスト（VinFast）」のベトナム国内での躍

進は凄まじい。ベトナムの街中に出ると、トヨタ、ホンダ、マツダといった日本ブランドの自動車が思いのほか多く走っている印象を受ける。しかし、毎月公表される統計資料（VinFast 公式 HP および VAMA sales report）を見ると、ヴィンファストの車両販売数は 2 位のトヨタ自動車以下を大きく突き放して 1 位を独走している。

この勢いはそのままインドへ持ち込まれているように感じる。ヴィンファストはインド南部タミル・ナドゥ州のトゥートクディに EV 製造工場を建設し、既に生産を開始している。さらに直近では、乗用車だけでなく「電動スクーター」や「電動バス」の製造ラインを追加するため、700 億ルピー（約 8 億 4,000 万ドル）規模に及ぶフェーズ 2 の大規模拡張投資計画を当局に申請した。インドの巨大な二輪・公共交通市場をも席卷しようとする戦略である。

③ ヴィングループによる「複合エコシステム」投資計画

さらに、ヴィングループの壮大なビジョンは自動車だけにとどまらない。同グループはインド南部テランガナ州政府との間で、30 億ドル規模の包括的なマルチ・セクター投資に関する覚書（MoU）を締結した。これは、同グループが得意とする「スマート都市開発（Vinhomes）」「医療（Vinmec）」「教育（Vinschool）」「観光・リゾート（Vinpearl）」「再生可能エネルギー」といったグループ全体のビジネスモデル（エコシステム）を、丸ごとインドへ移植しようとする極めて大規模な投資案件である。

4. 結び：多極化するアジア投資の未来

近時、「次の投資先はインドしかない」といった極端な論調に遭遇することもあるなか、ベトナムはチャイナ・プラスワンの確固たる受け皿として中華圏を中心とした製造業を吸収しつつ、自国の大手地場企業をインドの巨大市場へと送り出す「投資のハブ」へと変貌を遂げつつある。世界経済の地殻変動をチャンスへと変えるその「しなやかな強靱さ（レジリエンス）」は、今後もグローバル市場の羅針盤であり続ける。

2. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位: 1 人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
6月22日	23.72029	6月23日	23.74113	6月24日	23.72817	6月25日	23.73944	6月26日	23.74902
6月29日	23.74733	6月30日	23.78404	7月1日	23.90343	7月2日	23.90057	7月3日	23.75635
7月6日	23.76200	7月7日	23.83165	7月8日	23.84529	7月9日	23.88744	7月10日	23.88003
7月13日	23.85382	7月14日	23.89486	7月15日	23.89658	7月16日	23.91486	7月17日	23.91715
7月20日	23.93375	7月21日	23.94464	7月22日	24.04309	7月23日	24.04482	7月24日	24.12720



上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。

そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1 ドル当たりの日本円)

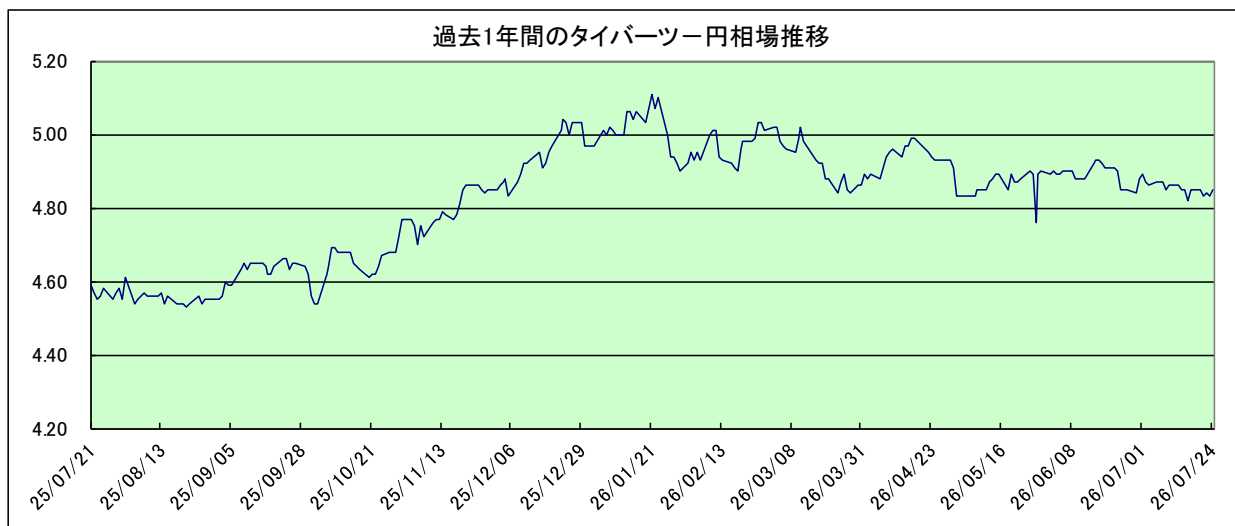
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
6月22日	161.60	6月23日	161.63	6月24日	161.66	6月25日	161.82	6月26日	161.90
6月29日	161.76	6月30日	162.39	7月1日	162.73	7月2日	162.65	7月3日	161.27
7月6日	161.58	7月7日	162.14	7月8日	162.37	7月9日	162.54	7月10日	162.14
7月13日	162.13	7月14日	162.34	7月15日	162.17	7月16日	162.22	7月17日	162.51
7月20日	-	7月21日	162.55	7月22日	163.21	7月23日	163.12	7月24日	164.01



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1 バーツ当たりの日本円)

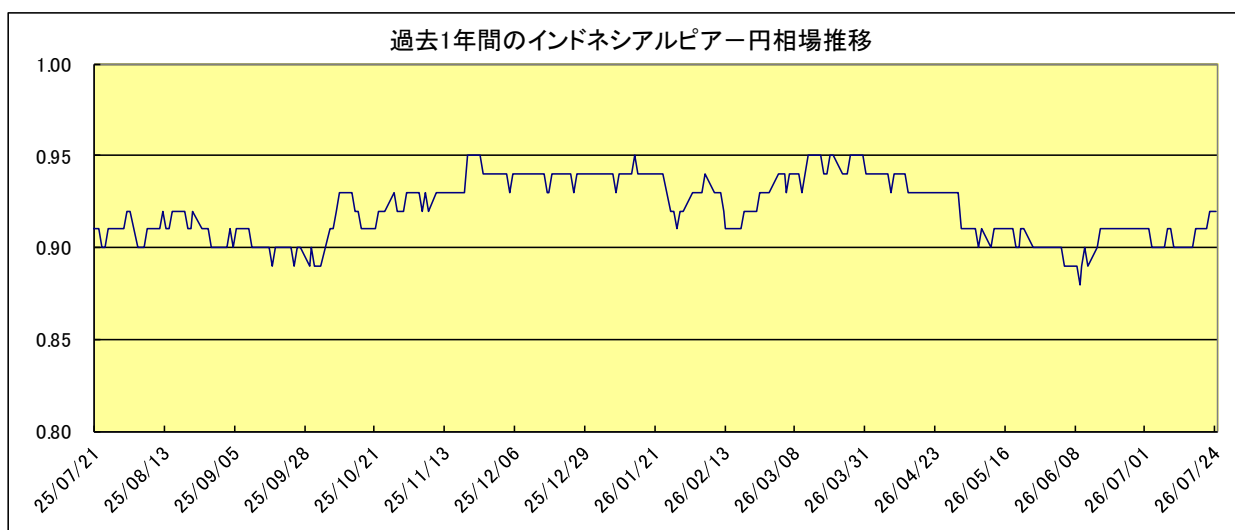
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
6月22日	4.9100	6月23日	4.9000	6月24日	4.8500	6月25日	4.8500	6月26日	4.8500
6月29日	4.8400	6月30日	4.8800	7月1日	4.8900	7月2日	4.8700	7月3日	4.8600
7月6日	4.8700	7月7日	4.8700	7月8日	4.8700	7月9日	4.8500	7月10日	4.8600
7月13日	4.8600	7月14日	4.8500	7月15日	4.8500	7月16日	4.8200	7月17日	4.8500
7月20日	-	7月21日	4.8300	7月22日	4.8400	7月23日	4.8300	7月24日	4.8500



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100 ルピア当たりの日本円)

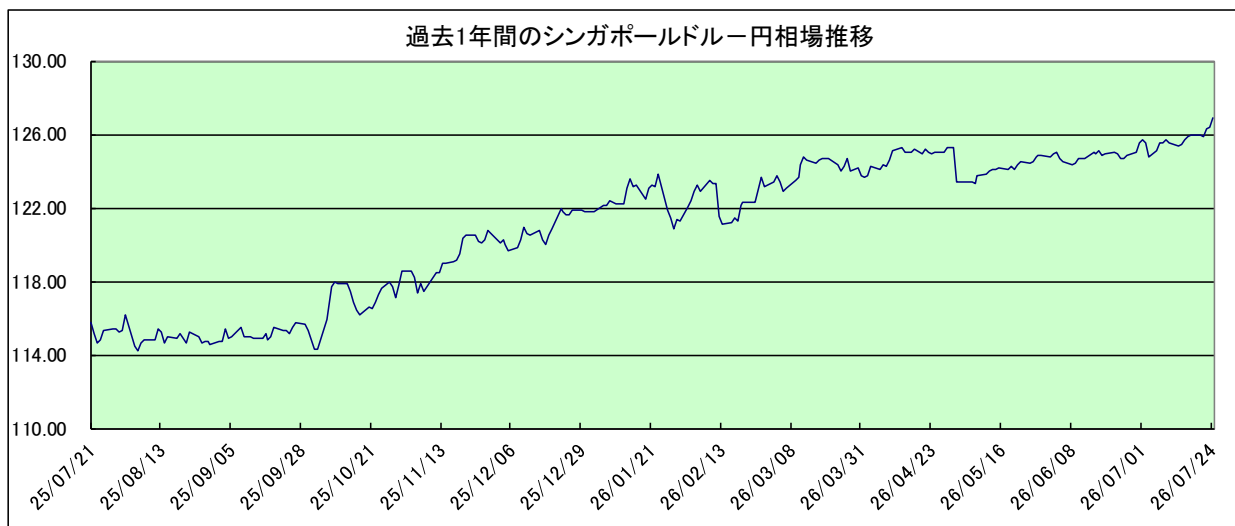
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
6月22日	0.9100	6月23日	0.9100	6月24日	0.9100	6月25日	0.9100	6月26日	0.9100
6月29日	0.9100	6月30日	0.9100	7月1日	0.9100	7月2日	0.9100	7月3日	0.9000
7月6日	0.9000	7月7日	0.9000	7月8日	0.9100	7月9日	0.9100	7月10日	0.9000
7月13日	0.9000	7月14日	0.9000	7月15日	0.9000	7月16日	0.9000	7月17日	0.9100
7月20日	-	7月21日	0.9100	7月22日	0.9200	7月23日	0.9200	7月24日	0.9200



(5) シンガポールドル―円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
6月22日	125.0500	6月23日	124.9500	6月24日	124.6500	6月25日	124.7200	6月26日	124.8400
6月29日	124.9800	6月30日	125.5300	7月1日	125.6700	7月2日	125.5100	7月3日	124.7700
7月6日	125.1200	7月7日	125.5100	7月8日	125.5600	7月9日	125.6600	7月10日	125.5100
7月13日	125.3500	7月14日	125.4300	7月15日	125.6900	7月16日	125.8500	7月17日	125.9500
7月20日	-	7月21日	125.8800	7月22日	126.3400	7月23日	126.3900	7月24日	126.8900



(6) ベトナムドン―円為替相場(参考値)

(単位:1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
6月22日	6.1300	6月23日	6.1300	6月24日	6.1400	6月25日	6.1400	6月26日	6.1400
6月29日	6.1400	6月30日	6.1700	7月1日	6.1800	7月2日	6.1800	7月3日	6.1300
7月6日	6.1400	7月7日	6.1600	7月8日	6.1700	7月9日	6.1700	7月10日	6.1600
7月13日	6.1700	7月14日	6.1800	7月15日	6.1700	7月16日	6.1700	7月17日	6.1800
7月20日	-	7月21日	6.1800	7月22日	6.2000	7月23日	6.1900	7月24日	6.2200

